

ガジュマル

クワ科・イチジク属

特徴

ゴムの木の仲間、東南アジアから日本南部（沖縄、屋久島、南西諸島）に生息し高さ20m以上にもなる高木です。やや肉厚で光沢のある葉で、木の本体から多くの気根を伸ばし土の中に入り込み、その樹形はとて変わった姿をしています。別名「多幸の樹」と呼ばれ幸福をもたらす精霊が住む木とされています。



用土

水はけと水もちのよい土が適しています。市販の観葉植物用土、または、赤玉土小粒7：腐葉土3の割合で混ぜた土を使います。

置き場所

春から秋は、戸外で直射日光に当て、がっしりとした丈夫な株にしましょう。日当たりが悪いと枝が間延びして葉色やツヤが悪くなります。冬は、最低気温が13度を下回ったら室内に入れ、5度以上のできるだけ明るい所で管理しましょう。

水やり

春から秋の育成期はたくさん水が必要です。土の表面が白っぽく乾いてきたらたっぷりと水を与えます。また霧吹きなどで葉にもたっぷり水をかけます。秋から冬は、水やりの回数を減らし、乾燥気味で育てます。冬に水を与えすぎると根腐れしてしまうことがあります。

肥料

春から秋の生育期に2ヶ月に1回、緩効性肥料（ゆるやかに長く効く肥料）を小さじ1杯、または観葉植物用の錠剤タイプ肥料を与えます。冬は根を傷めてしまうので与える必要はありません。

植え替え

鉢の底から根が伸びてきているようであれば植え替えします。鉢から抜いた株は一回り大きな鉢に新しい用土で植え替えます。だいたい1～2年に1回、5月～7月に植え替えます。

切り戻し

5～6月頃に、伸びた枝を切り戻しをする事で枝数が増えて良く茂った姿に仕立てることができます。勢いのある枝は付け根から切り取ります。その他は、バランスを見ながら1/3～2/3の長さに切り取ります。